

「日本の偉大なトイレ」

～日本のトイレ（TOTO）の進化に見る日本～

2017年9月11日（月）実施 JGA 第一支部研修 終了レポート

9月11日（月曜日）13:30～17:15、TOTO テクニカルセンター東京にて、JGA 第一支部主催の「日本の偉大なトイレ」研修が開催されました。今回は TOTO 株式会社様のご好意によるトイレ研修恒例化で第一支部では2回目の実施です。出席者は16名（JGA 会員14名、非会員1名、運営委員1名）。

プログラムは3部に分かれ、第1部は座学「日本のトイレ事情」、第2部は参加者を2グループに分けての館内見学ツアー、第3部は参加者によるトイレトークやトイレ文化プレゼンの意見交換会となっています。

第1部は TOTO 株式会社 グローバル・リレーション推進グループの星野毅氏が講師を務めてくださいました。PPT 資料を使いながら、日本におけるトイレの変遷から TOTO 株式会社製のトイレの最新情報まで、密度の濃い内容でした。日本においてトイレが単なる排泄の場からゆったりとくつろぐ空間へと進化してきたことがよくわかりました。一方、日本では当たり前になりつつある温水洗浄便座ですが、欧米では意外にも普及どころか認知率も低いとのこと。質疑応答では購入希望者への対応など、活発な質問が出されました。

第2部では、通常は入れない業者向けの展示エリアを見学しました。公共トイレの解説では、身障者やオストメイトの方への配慮に改めて感心、また日進月歩の技術向上でさらに省エネ化し、より清潔に、手入れも簡単になっていくトイレ、またシャワーの進化に、参加者一同感嘆していました。

第3部では、最初にガイディングでトイレトークを実践している参加者からの経験談を語っていただき、それに続けてさらに質問や意見、アイデアが出されました。実は男女間でトイレ環境やトイレ利用の感覚が異なることが判明し、時に会場は笑いに包まれました。

来日客にも大人気で関心を持たれる日本のトイレ。その技術、歴史、またそこから伺われる日本の文化や日本人の性格まで、すぐにもトークネタとして使えるような、通訳案内士にとって、非常に有用な情報を得ることができました。うまく伝えられるようプレゼンを工夫すれば、お客様にも大ウケしそうです。

通訳案内士にとって大変有意義な研修となりました。